



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 76 号

R4.9.2

文責 中西 勉



2学期スタート！ ～「やればできる！」～

今週8月29日（月）から2学期が始まりました。昨年、2学期の始めの授業は、分散登校とオンライン授業の併用による「ハイブリッド授業」で行っていました。そのことを思うと、今年は全国の新型コロナの感染者数は昨年と同じ時期に比べて多いものの、行動制限がないため、通常登校で2学期を始めることができ、順調にスタートが切れたと感じています。

さて、始業式では、校長の話として、「夏の全国高校野球」で優勝した宮城県の仙台育英高校のことを話題にしました。全国の3782校（3547チーム）の頂点に立った仙台育英高校ですが、東北地方の高校が優勝するのは、高校野球史上、春夏通じて初めての快挙でした。今大会は夏の第104回大会でしたので、東北地方の高校は、100年以上の時を経て、ようやく悲願を達成することができたのです。男川っ子には、この仙台育英高校の監督や選手の姿から、どんなに達成が難しいことに思えても、努力を重ね、あきらめずに挑戦し続けていけば、いつかきっと道が開ける、「やればできる！」ということを学んでほしいと伝えました。



▲仙台育英高校 悲願達成の瞬間

また、「やればできる！」と聞いて思い浮かぶのは、ティモンディの高岸宏行さんということで、この夏から“芸人”と独立リーグ「栃木ゴールデンブレーブズ」の“野球選手”の二足のわらじを履く形で、少年の頃の夢を叶えた高岸さんの姿にも注目しました。高岸さんが野球選手になれたのは、自らの努力もさることながら、夢への挑戦を相方の前田裕太さんが大きく支えてくれたことを紹介し、困ったことや悩みごとがあるときは、友達や先生、おうちの人に相談し、自分の力になってもらうことが大切であると伝えました。



▲ティモンディの高岸宏行さん

2学期には、「山の学習」「学芸会」「修学旅行」という大きな三つの行事があります。日頃の授業やこれらの行事を通して、男川っ子が「やればできる！」ということを実感できるようにしていきたいです。



台風シーズンの到来 ～台風11号に警戒～

今年最大の勢力に発達した猛烈な台風11号は、2日（金）12時現在、沖縄の南の海上にあります。今後、進路を変えて、北上してくる見通しです。週明けから、次第に本州にも影響が出てくると思われます。台風シーズンの到来に合わせ、本日、実家庭向けに「警報発令時における児童の登下校について」を配付しました。ご確認をお願いします。

